

06

校種・教科等	小中学校 養護教諭	受審番号		氏名	
--------	--------------	------	--	----	--

中学校『保健体育科』 模擬授業課題

(1) 日 時	令和5年 11月 10日 第5校時																						
(2) 場 所	2年1組教室																						
(3) 学年・学級	第2学年1組(30名)	使用教科書	中学保健体育(Gakken)																				
(4) 単 元 名	喫煙、飲酒、薬物乱用と健康																						
(5) 指導する生徒の状況	<p><b>【既習事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年の「健康の成り立ち」において、主体要因と環境要因の両方が絡み合って健康を良好に保つことができること、運動・食習慣・休養及び睡眠といった生活習慣と健康には関わりがあることを学習している。</li> </ul> <p><b>【単元のねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙・飲酒・薬物乱用が健康へ影響を与え、健康を損なう原因となることを正しく理解することができる。</li> <li>・喫煙・飲酒・薬物乱用などの行為は、個人の心理状態や社会的な環境が要因となることから、それらに適切に対処する必要があることを理解できる。</li> </ul> <p><b>【生徒の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭内で家族が喫煙している生徒が一定数いる。</li> <li>・スマホやタブレット等で、性に関する情報や薬物などの情報を調べるなど興味・関心をもっている生徒もいる。</li> <li>・クラスの雰囲気がいやが、自分の意見を伝えることが苦手な生徒がいる。</li> </ul>																						
(6) 指導計画(全4時間)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>次(時数)</th> <th>学習内容</th> <th>活動・指導形態</th> <th>評価計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1次 (1時間) (本時)</td> <td> <b>【喫煙と健康】(P92～93)</b>            ・たばこの煙の中には有害物質が含まれていること、また、それらの作用により、様々な疾病を起こしやすくなること。            ・特に、未成年者の喫煙については、身体に大きな影響を及ぼし、依存症になりやすいこと。         </td> <td>一斉 個人 グループ</td> <td>知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等</td> </tr> <tr> <td>第2次 (1時間)</td> <td> <b>【飲酒と健康】</b>            ・酒の主成分が中枢神経の働きを低下させ、思考力や運動能力等を低下させたり、事故などを起こしたりすること。            ・急激に大量の飲酒をすると急性中毒を起こし意識障害や死に至ること、また、常習的な飲酒では様々な疾病を起こしやすくなること。            ・特に、未成年者の飲酒については、身体に大きな影響を及ぼし依存症になりやすいこと。         </td> <td>一斉 個人 グループ</td> <td>知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等</td> </tr> <tr> <td>第3次 (1時間)</td> <td> <b>【薬物乱用と健康】</b>            ・覚醒剤や大麻を取り上げ、摂取によって急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと、薬物の連用により依存症状が現れ、中断すると様々な障害が起きること。            ・薬物乱用は、個人の心身の健全な発育や人格の形成を阻害するだけでなく、暴力や非行、犯罪など家庭・学校・地域社会にも深刻な影響を及ぼすこともあること。         </td> <td>一斉 個人 グループ</td> <td>知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等</td> </tr> <tr> <td>第4次 (1時間)</td> <td> <b>【喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ】</b>            ・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、好奇心・なげやりな気持ち・過度のストレスなどの心理状態、断りにくい人間関係、宣伝・広告や入手しやすさなどの社会環境によって助長されること、それらに適切に対処する必要があること。         </td> <td>一斉 個人 グループ</td> <td>知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等</td> </tr> </tbody> </table>			次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画	第1次 (1時間) (本時)	<b>【喫煙と健康】(P92～93)</b> ・たばこの煙の中には有害物質が含まれていること、また、それらの作用により、様々な疾病を起こしやすくなること。 ・特に、未成年者の喫煙については、身体に大きな影響を及ぼし、依存症になりやすいこと。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等	第2次 (1時間)	<b>【飲酒と健康】</b> ・酒の主成分が中枢神経の働きを低下させ、思考力や運動能力等を低下させたり、事故などを起こしたりすること。 ・急激に大量の飲酒をすると急性中毒を起こし意識障害や死に至ること、また、常習的な飲酒では様々な疾病を起こしやすくなること。 ・特に、未成年者の飲酒については、身体に大きな影響を及ぼし依存症になりやすいこと。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等	第3次 (1時間)	<b>【薬物乱用と健康】</b> ・覚醒剤や大麻を取り上げ、摂取によって急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと、薬物の連用により依存症状が現れ、中断すると様々な障害が起きること。 ・薬物乱用は、個人の心身の健全な発育や人格の形成を阻害するだけでなく、暴力や非行、犯罪など家庭・学校・地域社会にも深刻な影響を及ぼすこともあること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等	第4次 (1時間)	<b>【喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ】</b> ・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、好奇心・なげやりな気持ち・過度のストレスなどの心理状態、断りにくい人間関係、宣伝・広告や入手しやすさなどの社会環境によって助長されること、それらに適切に対処する必要があること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画																				
第1次 (1時間) (本時)	<b>【喫煙と健康】(P92～93)</b> ・たばこの煙の中には有害物質が含まれていること、また、それらの作用により、様々な疾病を起こしやすくなること。 ・特に、未成年者の喫煙については、身体に大きな影響を及ぼし、依存症になりやすいこと。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等																				
第2次 (1時間)	<b>【飲酒と健康】</b> ・酒の主成分が中枢神経の働きを低下させ、思考力や運動能力等を低下させたり、事故などを起こしたりすること。 ・急激に大量の飲酒をすると急性中毒を起こし意識障害や死に至ること、また、常習的な飲酒では様々な疾病を起こしやすくなること。 ・特に、未成年者の飲酒については、身体に大きな影響を及ぼし依存症になりやすいこと。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等																				
第3次 (1時間)	<b>【薬物乱用と健康】</b> ・覚醒剤や大麻を取り上げ、摂取によって急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと、薬物の連用により依存症状が現れ、中断すると様々な障害が起きること。 ・薬物乱用は、個人の心身の健全な発育や人格の形成を阻害するだけでなく、暴力や非行、犯罪など家庭・学校・地域社会にも深刻な影響を及ぼすこともあること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等																				
第4次 (1時間)	<b>【喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ】</b> ・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、好奇心・なげやりな気持ち・過度のストレスなどの心理状態、断りにくい人間関係、宣伝・広告や入手しやすさなどの社会環境によって助長されること、それらに適切に対処する必要があること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等																				

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

06

校種・教科等	小中学校 養護教諭	受審番号		氏名	
--------	--------------	------	--	----	--

中学校『保健体育科』 模擬授業課題

(1) 日 時	令和5年11月10日 第5校時																						
(2) 場 所	2年1組教室																						
(3) 学年・学級	第2学年1組(30名)	使用教科書	中学保健体育(Gakken)																				
(4) 単 元 名	喫煙、飲酒、薬物乱用と健康																						
(5) 指導する生徒の状況	<p><b>【既習事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年の「健康の成り立ち」において、主体要因と環境要因の両方が絡み合って健康を良好に保つことができること、運動・食習慣・休養及び睡眠といった生活習慣と健康には関わりがあることを学習している。</li> </ul> <p><b>【単元のねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙・飲酒・薬物乱用が健康へ影響を与え、健康を損なう原因となることを正しく理解することができる。</li> <li>・喫煙・飲酒・薬物乱用などの行為は、個人の心理状態や社会的な環境が要因となることから、それらに適切に対処する必要があることを理解できる。</li> </ul> <p><b>【生徒の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭内で家族が喫煙している生徒が一定数いる。</li> <li>・スマホやタブレット等で、性に関する情報や薬物などの情報を調べるなど興味・関心をもっている生徒もいる。</li> <li>・クラスの雰囲気がいやが、自分の意見を伝えることが苦手な生徒がいる。</li> </ul>																						
(6) 指導計画(全4時間)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>次(時数)</th> <th>学習内容</th> <th>活動・指導形態</th> <th>評価計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1次 (1時間)</td> <td> <b>【喫煙と健康】</b>            ・たばこの煙の中には有害物質が含まれていること、また、それらの作用により、様々な疾病を起こしやすくなること。            ・特に、未成年者の喫煙については、身体に大きな影響を及ぼし、依存症になりやすいこと。         </td> <td>一斉 個人 グループ</td> <td>知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等</td> </tr> <tr> <td>第2次 (1時間) (本時)</td> <td> <b>【飲酒と健康】(P94～95)</b>            ・酒の主成分が中枢神経の働きを低下させ、思考力や運動能力等を低下させたり、事故などを起こしたりすること。            ・急激に大量の飲酒をすると急性中毒を起こし意識障害や死に至ること、また、常習的な飲酒では様々な疾病を起こしやすくなること。            ・特に、未成年者の飲酒については、身体に大きな影響を及ぼし依存症になりやすいこと。         </td> <td>一斉 個人 グループ</td> <td>知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等</td> </tr> <tr> <td>第3次 (1時間)</td> <td> <b>【薬物乱用と健康】</b>            ・覚醒剤や大麻を取り上げ、摂取によって急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと、薬物の連用により依存症状が現れ、中断すると様々な障害が起きること。            ・薬物乱用は、個人の心身の健全な発育や人格の形成を阻害するだけでなく、暴力や非行、犯罪など家庭・学校・地域社会にも深刻な影響を及ぼすこともあること。         </td> <td>一斉 個人 グループ</td> <td>知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等</td> </tr> <tr> <td>第4次 (1時間)</td> <td> <b>【喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ】</b>            ・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、好奇心・なげやりな気持ち・過度のストレスなどの心理状態、断りにくい人間関係、宣伝・広告や入手しやすさなどの社会環境によって助長されること、それらに適切に対処する必要があること。         </td> <td>一斉 個人 グループ</td> <td>知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等</td> </tr> </tbody> </table>			次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画	第1次 (1時間)	<b>【喫煙と健康】</b> ・たばこの煙の中には有害物質が含まれていること、また、それらの作用により、様々な疾病を起こしやすくなること。 ・特に、未成年者の喫煙については、身体に大きな影響を及ぼし、依存症になりやすいこと。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等	第2次 (1時間) (本時)	<b>【飲酒と健康】(P94～95)</b> ・酒の主成分が中枢神経の働きを低下させ、思考力や運動能力等を低下させたり、事故などを起こしたりすること。 ・急激に大量の飲酒をすると急性中毒を起こし意識障害や死に至ること、また、常習的な飲酒では様々な疾病を起こしやすくなること。 ・特に、未成年者の飲酒については、身体に大きな影響を及ぼし依存症になりやすいこと。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等	第3次 (1時間)	<b>【薬物乱用と健康】</b> ・覚醒剤や大麻を取り上げ、摂取によって急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと、薬物の連用により依存症状が現れ、中断すると様々な障害が起きること。 ・薬物乱用は、個人の心身の健全な発育や人格の形成を阻害するだけでなく、暴力や非行、犯罪など家庭・学校・地域社会にも深刻な影響を及ぼすこともあること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等	第4次 (1時間)	<b>【喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ】</b> ・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、好奇心・なげやりな気持ち・過度のストレスなどの心理状態、断りにくい人間関係、宣伝・広告や入手しやすさなどの社会環境によって助長されること、それらに適切に対処する必要があること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画																				
第1次 (1時間)	<b>【喫煙と健康】</b> ・たばこの煙の中には有害物質が含まれていること、また、それらの作用により、様々な疾病を起こしやすくなること。 ・特に、未成年者の喫煙については、身体に大きな影響を及ぼし、依存症になりやすいこと。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等																				
第2次 (1時間) (本時)	<b>【飲酒と健康】(P94～95)</b> ・酒の主成分が中枢神経の働きを低下させ、思考力や運動能力等を低下させたり、事故などを起こしたりすること。 ・急激に大量の飲酒をすると急性中毒を起こし意識障害や死に至ること、また、常習的な飲酒では様々な疾病を起こしやすくなること。 ・特に、未成年者の飲酒については、身体に大きな影響を及ぼし依存症になりやすいこと。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等																				
第3次 (1時間)	<b>【薬物乱用と健康】</b> ・覚醒剤や大麻を取り上げ、摂取によって急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと、薬物の連用により依存症状が現れ、中断すると様々な障害が起きること。 ・薬物乱用は、個人の心身の健全な発育や人格の形成を阻害するだけでなく、暴力や非行、犯罪など家庭・学校・地域社会にも深刻な影響を及ぼすこともあること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等																				
第4次 (1時間)	<b>【喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ】</b> ・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、好奇心・なげやりな気持ち・過度のストレスなどの心理状態、断りにくい人間関係、宣伝・広告や入手しやすさなどの社会環境によって助長されること、それらに適切に対処する必要があること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等																				

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

06

校種・教科等	小中学校 養護教諭	受審番号		氏名	
--------	--------------	------	--	----	--

中学校『保健体育科』 模擬授業課題

(1) 日 時	令和5年 11月 10日 第5校時																						
(2) 場 所	2年1組教室																						
(3) 学年・学級	第2学年1組(30名)	使用教科書	中学保健体育(Gakken)																				
(4) 単 元 名	喫煙、飲酒、薬物乱用と健康																						
(5) 指導する生徒の状況	<p><b>【既習事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年の「健康の成り立ち」において、主体要因と環境要因の両方が絡み合って健康を良好に保つことができること、運動・食習慣・休養及び睡眠といった生活習慣と健康には関わりがあることを学習している。</li> </ul> <p><b>【単元のねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙・飲酒・薬物乱用が健康へ影響を与え、健康を損なう原因となることを正しく理解することができる。</li> <li>・喫煙・飲酒・薬物乱用などの行為は、個人の心理状態や社会的な環境が要因となることから、それらに適切に対処する必要があることを理解できる。</li> </ul> <p><b>【生徒の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭内で家族が喫煙している生徒が一定数いる。</li> <li>・スマホやタブレット等で、性に関する情報や薬物などの情報を調べるなど興味・関心をもっている生徒もいる。</li> <li>・クラスの雰囲気がいやが、自分の意見を伝えることが苦手な生徒がいる。</li> </ul>																						
(6) 指導計画(全4時間)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>次(時数)</th> <th>学習内容</th> <th>活動・指導形態</th> <th>評価計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1次 (1時間)</td> <td> <b>【喫煙と健康】</b>            ・たばこの煙の中には有害物質が含まれていること、また、それらの作用により、様々な疾病を起こしやすくなること。            ・特に、未成年者の喫煙については、身体に大きな影響を及ぼし、依存症になりやすいこと。         </td> <td>一斉 個人 グループ</td> <td>知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等</td> </tr> <tr> <td>第2次 (1時間)</td> <td> <b>【飲酒と健康】</b>            ・酒の主成分が中枢神経の働きを低下させ、思考力や運動能力等を低下させたり、事故などを起こしたりすること。            ・急激に大量の飲酒をすると急性中毒を起こし意識障害や死に至ること、また、常習的な飲酒では様々な疾病を起こしやすくなること。            ・特に、未成年者の飲酒については、身体に大きな影響を及ぼし依存症になりやすいこと。         </td> <td>一斉 個人 グループ</td> <td>知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等</td> </tr> <tr> <td>第3次 (1時間) (本時)</td> <td> <b>【薬物乱用と健康】(P96～97)</b>            ・覚醒剤や大麻を取り上げ、摂取によって急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと、薬物の連用により依存症状が現れ、中断すると様々な障害が起きること。            ・薬物乱用は、個人の心身の健全な発育や人格の形成を阻害するだけでなく、暴力や非行、犯罪など家庭・学校・地域社会にも深刻な影響を及ぼすこともあること。         </td> <td>一斉 個人 グループ</td> <td>知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等</td> </tr> <tr> <td>第4次 (1時間)</td> <td> <b>【喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ】</b>            ・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、好奇心・なげやりな気持ち・過度のストレスなどの心理状態、断りにくい人間関係、宣伝・広告や入手しやすさなどの社会環境によって助長されること、それらに適切に対処する必要があること。         </td> <td>一斉 個人 グループ</td> <td>知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等</td> </tr> </tbody> </table>			次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画	第1次 (1時間)	<b>【喫煙と健康】</b> ・たばこの煙の中には有害物質が含まれていること、また、それらの作用により、様々な疾病を起こしやすくなること。 ・特に、未成年者の喫煙については、身体に大きな影響を及ぼし、依存症になりやすいこと。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等	第2次 (1時間)	<b>【飲酒と健康】</b> ・酒の主成分が中枢神経の働きを低下させ、思考力や運動能力等を低下させたり、事故などを起こしたりすること。 ・急激に大量の飲酒をすると急性中毒を起こし意識障害や死に至ること、また、常習的な飲酒では様々な疾病を起こしやすくなること。 ・特に、未成年者の飲酒については、身体に大きな影響を及ぼし依存症になりやすいこと。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等	第3次 (1時間) (本時)	<b>【薬物乱用と健康】(P96～97)</b> ・覚醒剤や大麻を取り上げ、摂取によって急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと、薬物の連用により依存症状が現れ、中断すると様々な障害が起きること。 ・薬物乱用は、個人の心身の健全な発育や人格の形成を阻害するだけでなく、暴力や非行、犯罪など家庭・学校・地域社会にも深刻な影響を及ぼすこともあること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等	第4次 (1時間)	<b>【喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ】</b> ・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、好奇心・なげやりな気持ち・過度のストレスなどの心理状態、断りにくい人間関係、宣伝・広告や入手しやすさなどの社会環境によって助長されること、それらに適切に対処する必要があること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画																				
第1次 (1時間)	<b>【喫煙と健康】</b> ・たばこの煙の中には有害物質が含まれていること、また、それらの作用により、様々な疾病を起こしやすくなること。 ・特に、未成年者の喫煙については、身体に大きな影響を及ぼし、依存症になりやすいこと。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等																				
第2次 (1時間)	<b>【飲酒と健康】</b> ・酒の主成分が中枢神経の働きを低下させ、思考力や運動能力等を低下させたり、事故などを起こしたりすること。 ・急激に大量の飲酒をすると急性中毒を起こし意識障害や死に至ること、また、常習的な飲酒では様々な疾病を起こしやすくなること。 ・特に、未成年者の飲酒については、身体に大きな影響を及ぼし依存症になりやすいこと。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等																				
第3次 (1時間) (本時)	<b>【薬物乱用と健康】(P96～97)</b> ・覚醒剤や大麻を取り上げ、摂取によって急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと、薬物の連用により依存症状が現れ、中断すると様々な障害が起きること。 ・薬物乱用は、個人の心身の健全な発育や人格の形成を阻害するだけでなく、暴力や非行、犯罪など家庭・学校・地域社会にも深刻な影響を及ぼすこともあること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等																				
第4次 (1時間)	<b>【喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ】</b> ・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、好奇心・なげやりな気持ち・過度のストレスなどの心理状態、断りにくい人間関係、宣伝・広告や入手しやすさなどの社会環境によって助長されること、それらに適切に対処する必要があること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等																				

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

06

校種・教科等	小中学校 養護教諭	受審番号		氏名	
--------	--------------	------	--	----	--

## 『保健体育科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和5年10月25日 第3校時(45分)

(2) 場 所 3年A組教室

(3) 学年・学級 第3学年A組(35名)

使用教科書 中学保健体育(Gakken)

(4) 単 元 名 個人の健康を守る社会の取り組み

(5) 指導する生徒の状況

## 【既習事項】

・第2学年の「薬物乱用と健康」において、薬物乱用について、覚醒剤や大麻を取り上げ、激しい急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと、薬物の連用により依存症が現れ、様々な傷害が起きることを学習している。

## 【単元のねらい】

- ・健康の保持増進や疾病の予防には個人や社会の取り組みが重要であり、保健・医療機関を有効に利用することが必要であると理解できる。
- ・医薬品には、主作用と副作用があること及び、使用回数、使用時間、使用量、などの使用方法があり、正しく使用する必要があることについて理解できる。

## 【生徒の状況】

男子16名、女子19名、合計35名の学級であり、元気で真面目な生徒が多く、グループワークでの学び合いは積極的に発言できる生徒が多い。

偏頭痛への対処として、医療機関は受診せず、薬局で一般用医薬品を購入し、日常的に服薬をしている生徒がいる。また、飲み忘れた際に、朝・昼分あわせて服用するなど、自己の判断で薬を服用している生徒がいる。

(6) 指導計画(全2時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1次 (1時間)	<b>【健康を守る社会の取り組み】</b> ・健康の保持増進には個人の日常的な健康づくりとそれを援助する社会的な活動が必要であること。 ・地域には、保健所・保健センターなどの保健機関があること。 ・保健所は専門的で広い地域にわたる保健サービスを中心に活動していること。 ・保健センターは地域住民に対する身近な保健サービスを中心に活動していること。	一斉 グループ 個別	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
第2次 (1時間) (本時)	<b>【医療機関の利用と医薬品の使用】(P162～163)</b> ・病気やけがなど、心身の状態が不調な時の適切な病院を利用すること。 ・医薬品には期待される主作用と好ましくない作用である副作用があること。 ・医薬品には使用回数・使用時間・使用量など使用方法があり、正しく使用することが必要であること。	一斉 グループ 個別	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。